

テクニカルセミナー9「New targets and therapeutic paradigms from protein proximity: タンパク質近接性が拓く新たな創薬パラダイム:がん・免疫疾患への応用」

バイオエンジニアリング研究会

細胞膜上のタンパク質近接環境を解析し、新規二重特異性抗体や ADC 戦略を創出。がん・免疫治療の新しい可能性を切り拓く。

2025 年 11 月 14 日 (金) 11 時 00 分～12 時 10 分

主催 (一財)バイオインダストリー協会 バイオエンジニアリング研究会

【協賛】 (公社)日本生物工学会 (予定)

座長 津本 浩平 氏 (東京大学大学院 工学系研究科

バイオエンジニアリング専攻 教授、バイオエンジニアリング研究会 副会長)

企画・オーガナイザー

湯本 史明 氏 (Renzoku Biologics 株式会社 CBDO)

プログラム

11:00～11:45

講演: New targets and therapeutic paradigms from protein proximity 【使用言語: 英語】

Scott Lesley, Ph.D. President and CSO

InduPro (www.induprotx.com)



スタンフォード大学発ベンチャーである InduPro 社は、細胞表面におけるタンパク質の近接環境を定義し、新たな治療標的と戦略を生み出すリーディング企業である。本セミナーでは、President/CSO であるスコット レスリー博士 (元・米メルク社 Discovery Biologics 担当バイスプレジデント) をお招きし、独自の Membrane INTERactomics (MINT) プラットフォームにより作成した腫瘍抗原近接マップから、腫瘍細胞と正常組織の差異を活用した ADC (抗体薬物複合体) の高い選択性を実現する戦略をご紹介します。また、免疫シナプスにおけるタンパク質近接情報を活用し、免疫シグナルを活性化・抑制する新規二重特異性抗体プログラムなど、タンパク質近接性を基盤とした革新的な治療アプローチについてお話いただきます。

オープンセミナーとして企画しましたので、ご興味をありそうな方々に広くご周知いただけましたら、幸いです。

Signaling biology is driven by both the expression and the local environment of proteins on the cell surface. InduPro is a leader in defining these local protein proximity environments and has used this

information to define novel bispecific targeting strategies in oncology and immunology. Through its Membrane INTERactomics platform (MINT), InduPro has created a map of the tumor antigen proximity landscape. Mining these data has yielded unique pairings and strategies for tumor targeting. Our lead program, IDP-001, utilizes a proximity pairing for enhanced and selective ADC activity. The target pairing leverages shared biology and differential proximity between tumor cells and normal tissue to enhance the therapeutic index of the ADC. MINT has also been used to create immune signaling strategies. The composition and proximity landscape of the immune synapse has led to the IDP-002 and IDP-003 programs. By using bispecific antibodies to recruit proteins to, or sequester proteins from this unique signaling environment, we have created immune signaling agonists and antagonists. These novel targeting strategies represent a new paradigm for disease intervention by defining and manipulating protein proximity.

11:45～12:10 質疑応答と総合討論

座長:津本 浩平 氏(東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 教授)

参加方法 講演会参加費 無料

お申し込み **マイページにログイン後、最下部の申込ボタンからお申し込み下さい。**

※セミナーのお申し込みには、会員・非会員問わず、マイページのご登録申請が必要となっております。マイページ未登録の方は、こちら よりご登録をお願いいたします。マイページの申請から登録完了までには数日お時間をいただく場合がございます。お早めにマイページ登録をお申し込みください。

※こちら からもお申し込み可能です。

お申し込み締め切り 11 月 12 日(水)

※参加登録完了後に申込完了メール、前日にリマインドメールを送信いたします。

※セミナーURL は申込完了メールとリマインドメールメールに添付いたします。

※メールが届かない場合は、下記担当者にご連絡下さい。

お問い合わせ (一財)バイオインダストリー協会 (担当 : 橋本、矢田)

E-mail : hashimotosnj(at)jba.or.jp ((at)を@に変えてください)